

内線プラス

クライアントソフト B (ユーザ編) iPhone 版 V2

使用手引書 第2版

富士通株式会社

- ・ 本書を無断で他に転載しないようお願いします。
- ・ 本書は予告なしに変更されることがあります。

はじめに

このたびは、「内線プラス クライアントソフト B iPhone 版」をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

「内線プラス クライアントソフト B iPhone 版」は、SIP プロトコルをサポートし、FUJITSU Network MobiSart と連携することにより、内線電話サービスを提供するアプリケーションです。

本書は、「内線プラス クライアントソフト B iPhone 版」の使用方法について説明した使用手引書です。

本書では以下の名称を用いています。

- ・ 「内線プラス クライアントソフト B iPhone 版」を「内線プラス」と称します。
- ・ 「FUJITSU Network MobiSart」を「MobiSart」と称します。
- ・ その他の名称については、一般に各開発メーカーの商標または登録商標です。

本書を読むにあたって

「内線プラス」利用に際し、関連する製品の機能および操作については、各ソフトウェアおよび製品に添付のマニュアルを参照してください。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下「弊社」といいます）は、お客様のスマートフォンにて「内線プラス」（以下「本アプリケーション」といいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「アプリケーションの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。

下記「アプリケーションの使用条件」をお読みいただき、ご同意頂けた場合にのみ、本アプリケーションをご使用いただく事ができます。

アプリケーションの使用条件

1. 本アプリケーションの使用および著作権

- (1) お客様は、本アプリケーションを日本国内において、お客様のスマートフォンで、以下に定める用途に使用するためにのみご使用できます。
別途弊社が提供している「FUJITSU Network MobiSart 基本ソフト」（以下、「本ライセンス」といいます）を購入した法人からの指示にしたがって、MobiSart（以下「本サーバ」といいます）にお客様のスマートフォンを接続し、お客様間の通話その他の本サーバが提供するサービスを利用するため。
- (2) お客様は本アプリケーションの使用権のみを得るものであり、本アプリケーションの著作権は弊社に帰属するものとします。
- (3) 本アプリケーションに関するお客様からのお問い合わせは、本ライセンスを保有している法人からのみ受け付けます。

2. 制限行為

- (1) お客様は、本アプリケーションを修正、変更、複製、改造をすること、あるいは逆コンパイル・逆アセンブルを伴うリバースエンジニアリングを行うことはできません。
- (2) お客様は、本アプリケーションの全部または一部を、有償・無償を問わず第三者に販売、頒布、貸与、譲渡等しあるいは再使用権を許諾しあるいは担保の目的に供することはできません。
- (3) お客様は、本アプリケーションを日本から輸出することができません。

3. 免責事項

- (1) 弊社は、本アプリケーションに瑕疵がないことを保証せず、本アプリケーションの商品性、またはお客様の特定の目的に対する適合性について、いかなる保証も行わないものとします。
- (2) お客様が下記ハイセイフティ用途に本ソフトウェアを使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても同様に、弊社は一切の責任を負わないものとします。
- (3) 弊社は、本アプリケーションが第三者の著作権その他の権利を侵害していないことを保証するものではありません。

4. 責任の制限

弊社は、いかなる場合であっても、本アプリケーションの使用または使用不能から生じるいかなる損害（直接的損害、間接的損害、特別な事情から生じた損害、逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これらに限られないものとします）に関して、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

5. ハイセイフティ

- (1) 本アプリケーションは、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本アプリケーションを使用しないものとします。
- (2) ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途を言います。

記

原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

6. その他

本契約の準拠法は、日本法とします。また、本契約に関連する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

内線プラス クライアントソフト B iPhone 版 使用許諾契約特約事項

本アプリケーションには、オープンソースソフトウェアが含まれており、下記の使用許諾条件が適用されます。各オープンソースソフトウェアの使用許諾条件の入手を希望される方は、下記 URL より入手することが可能です。

URL: <https://fenics.fujitsu.com/products/download/licence/>

(1) 使用許諾条件名称：New BSD License.

OSS 名称：objective-zip

(2) 使用許諾条件名称：zlib-license.

OSS 名称：zlib, MiniZip

(3) 使用許諾条件名称：Mit License.

OSS 名称：JASidePanels

以 上

本書の構成

以下に本書の構成を示します。

第1章 ログイン・ログアウト

本アプリケーションの MobiSart へのログイン・ログアウト方法について説明しています。

第2章 設定

本アプリケーションの設定内容について説明しています。

第3章 操作

本アプリケーションの操作方法について説明しています。

付録

- A 使用時の留意事項
- B ライセンス

目次

第1章 ログイン・ログアウト	7
1.1 App Storeからのインストール	8
1.2 起動～MobiSartへのログイン	8
1.3 MobiSartからのログアウト	10
第2章 設定	11
2.1 着信転送設定	13
2.1.1 可変不在転送	14
2.1.2 応答遅延転送	15
2.1.3 話中転送	15
2.1.4 圏外転送	15
2.2 外線付加設定	16
2.3 夜間切替設定	17
2.4 着信音	18
2.5 アカウント	19
2.6 ヘルプ	20
第3章 操作	21
3.1 「内線プラス」の基本操作	22
3.1.1 「内線プラス」の起動	22
3.1.2 電話をかける	24
3.1.3 電話を受ける	25
3.1.4 通話中画面の見かた	26
3.1.5 電話を転送する	28
3.1.6 電話をパークする	30
3.1.7 グループ保留	31
3.1.8 通話中に電話を受ける	33
付録A 使用時の留意事項	34
付録B ライセンス	35

第1章 ログイン・ログアウト

本章では、「内線プラス」のログイン・ログアウト手順について説明します。

1.1 App Store からのインストール

App Store から「内線プラス」をダウンロード・インストールする方法について説明します。

- ・ iPhone から「App Store」をタップします。
- ・ 検索エリアに「内線プラス クライアントソフト B」と入力し、検索します。
- ・ 検索結果から「内線プラス クライアントソフト B iPhone 版」を選択し、「無料」→「インストール」をタップします。

※「FUJITSU Network 内線プラス クライアントソフト A iPhone 版」は本システムではご利用になりません。ご注意ください。

1.2 起動～MobiSart へのログイン

「内線プラス」の起動から MobiSart へのログイン方法について説明します。

(1) Wi-Fi 接続を行います。

- ・ 「設定」→「Wi-Fi」で、Wi-Fi を「オン」にします。
- ・ 利用可能な Wi-Fi ネットワークがリスト表示されるので、MobiSart によるネットワークを選択し、「接続」をタップします。

(2) 「内線プラス」アイコンをタップします。

インストールされた「内線プラス」は、iPhone から「内線プラス」をタップすると起動できません。

起動すると、MobiSart にログインを行うための設定画面を表示します。

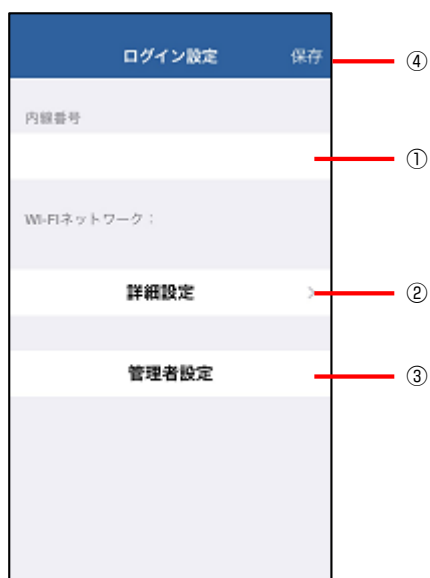


図 1-1 ログイン設定画面



図 1-2 ログイン詳細設定画面

(3) MobiSart への接続設定を入力します。

<ログイン設定画面>

- ① 内線番号 ※1
使用する内線番号を入力します。
- ② 詳細設定
タップすると、ログイン詳細設定画面(図 1-2)が表示されます。
- ③ 管理者設定
管理者が設定する項目となります。詳細は別紙「内線プラス クライアントソフト B(管理者編) V2 使用手引書」をご参照ください。
- ④ 保存
入力した設定値を保存し、MobiSart への接続を試みます。
接続が成功すると、図 3-1 ホーム画面を表示します。

<ログイン設定詳細画面>

- ⑤ FTP サーバ IP アドレス ※2
接続する FTP サーバの IP アドレスを入力します。
デフォルトは「192.168.1.1」です。
- ⑥ SIP サービスドメイン ※1
SIP メッセージに付与するサービスドメインです。
デフォルトは「sip.office.local」です。
- ⑦ SIP 認証 ユーザ名 ※3
- ⑧ SIP 認証 パスワード ※3
SIP 認証を必要とする設定の場合、MobiSart での認証設定を入力します。
- ⑨ バックグラウンド動作
「内線プラス」がバックグラウンドにある場合に着信を許容するかを設定します。
「バックグラウンド動作」を ON にすると、iPhone スリープ中や「内線プラス」がバックグラウンドにあるときでも電話を受けることができます。
- ⑩ ログイン設定
入力した設定値を保存し、ログイン設定画面に戻ります。

※1 MobiSart への接続に必要な設定です。

※2 「内線プラス」は、MobiSart への接続前に、FTP サーバの探索を行います。

FTP サーバの探索に失敗した場合に、本設定値を使用して FTP サーバへの接続を試みます。

※3 「内線プラス」による FTP サーバの探索が成功した場合にのみ有効です。

1.3 MobiSart からのログアウト

「内線プラス」のログアウト方法について説明します。



図 1-3 終了(iOS6)

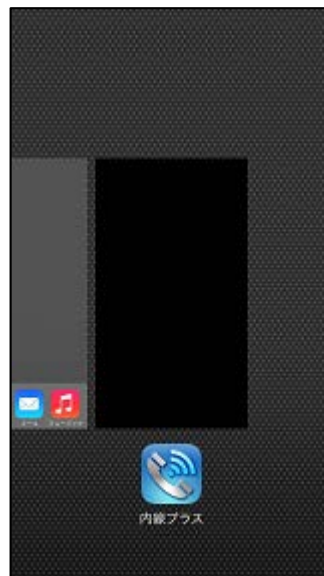


図 1-4 終了(iOS7以降)

(1) iPhone のホームボタンをダブルクリックし、「マルチタスク」画面を表示します。

(2) <iOS6 の場合> (図 1-3)

「内線プラス」のアイコンをロングタップし、アイコン左肩に表示される「⊖」をタップすると、「内線プラス」が MobiSart からログアウトします。

<iOS7 以降の場合> (図 1-4)

「内線プラス」のサムネイルを上にスワイプすると、「内線プラス」が MobiSart からログアウトします。

第2章 設定

本章では、「内線プラス」の各設定について説明します。
「内線プラス」の「設定」タブをタップします。



図 2-1 設定画面(上部)

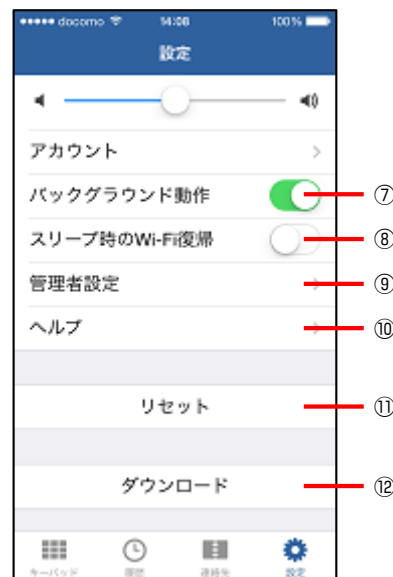


図 2-2 設定画面(下部)

- ① [2.1 着信転送設定](#) ※
- ② [2.2 外線付加設定](#) ※
- ③ [2.3 夜間切替設定](#) ※
- ④ [2.4 着信音](#) ※
- ⑤ 受話音量

「内線プラス」から聴こえる受話音量を調整することができます。

iPhone 本体の音量上下キーによる音量調節では、携帯電話での通話、および「内線プラス」での通話双方に作用しますが、ここで調節した音量は、「内線プラス」での通話にのみ有効で、携帯電話での通話には影響しません。

- ⑥ [2.5 アカウント](#) ※
- ⑦ バックグラウンド動作

「バックグラウンド動作」をオンにすると、「内線プラス」がバックグラウンドにある場合も電話を受けることができます。

- ⑧ スリープ時の Wi-Fi 復帰

「スリープ時の Wi-Fi 復帰」をオンにすると、ご利用の iPhone が Wi-Fi 圏外に移動した場合、Wi-Fi 状態を定期的に確認するための画面点灯を行います。

- ⑨ 管理者設定
管理者が設定する項目となります。詳細は別紙「内線プラス クライアントソフト B (管理者編) V2 使用手引書」をご参照ください。
- ⑩ [2.6 ヘルプ](#) ※
- ⑪ リセット
「内線プラス」を終了後、再起動します。
ここでは、設定ファイルのダウンロードは行いません。
- ⑫ ダウンロード
「内線プラス」を終了後、設定ファイルのダウンロードを行い、再起動します。

※①～④、⑥、⑩をタップすると、それぞれ設定画面が表示されます。

2.1 着信転送設定

「内線プラス」の着信転送、夜間切替、不在の設定・解除について説明します。



図 2-3 着信転送設定画面



図 2-4 ホーム画面

① [2.1.1 可変不在転送](#)

② [2.1.2 応答遅延](#)

③ [2.1.3 話中転送](#)

④ [2.1.4 圏外転送](#)


①～④をタップすると、それぞれ設定画面が表示されます。

⑤ ～⑧

「内線プラス」は①～④によってサービスを設定すると、それに使用した値を保存します。保存された値がある状態で、項目名の左側をタップすると、それぞれのサービスの設定・解除を保存された値によって行います。

⑨ 不在

タップすると、「内線プラス」が電話を受けることができなくなります。

⑩ 不在設定中アイコン

不在を設定中の場合、ホーム画面の左肩に表示されます。

通知バーをスライドし、「内線プラス 不在設定中」をタップすると、「ホーム画面」を表示します。

2.1.1 可変不在転送


電話を受けられない場合に、あらかじめ他の内線電話へ着信を転送する設定ができます。



図 2-5 可変不在転送設定画面



図 2-6 ホーム画面

- ① 可変不在転送を行う
オンにスライドした場合は可変不在転送登録、オフにスライドした場合は可変不在転送解除となります。
- ② 可変不在転送先内線電話番号
可変不在転送を行う場合の、転送先となる内線番号を入力します。
- ③ 保存
可変不在転送の登録／解除を MobiSart に登録します。
- ④ 着信転送
「着信転送」を表示します。
- ⑤ 着信転送登録中アイコン
可変在転送を登録中の場合、ホーム画面の左肩に表示されます。
通知バーをスライドし、「内線プラス 着信転送登録中」をタップすると、「ホーム画面」を表示します。

- ・可変不在転送を登録する場合
 - ①をオンにし、②に着信を転送する内線番号を入力します。
 - ③をタップします。
- ・可変不在転送を解除する場合
 - ①をオフにします。
 - ③をタップします。

2.1.2 応答遅延転送

着信後、応答しないまま一定時間が経過した場合、他の内線電話へ着信を転送する設定ができません。

設定手順については、[2.1.1 可変不在転送](#)に準じます。

2.1.3 話中転送

「内線プラス」通話中に電話を受けた場合、他の内線電話へ着信を転送する設定ができます。

設定手順については、[2.1.1 可変不在転送](#)に準じます。

2.1.4 圏外転送

「内線プラス」がログアウト中に電話を受けた場合、他の内線電話へ着信を転送する設定ができます。

設定手順については、[2.1.1 可変不在転送](#)に準じます。

2.2 外線付加設定

MobiSart に外線発信の設定をしている場合、特番を付与することで公衆網に電話をかけることができます。

ここでは、指定した番号の先頭に、外線特番を自動的に付与する設定ができます。

※MobiSart の外線発信の設定については管理者にお問い合わせください。



図 2-7 外線判定番号の設定画面

- ① 外線付与を使用する
オンにスライドした場合、自動的に外線特番を使用します。
- ② 外線判定番号
外線発信を行うかどうかを判断する番号を入力します。
例えば「090-xxxx-xxxx」へ発信するときは必ず外線発信を行う場合、「090」を入力します。
「090」、「080」など複数ある場合、「090/080」と入力します。
- ③ 保存
外線特番の使用／不使用を保存します。
- ④ 設定
タップすると、「設定」を表示します。

2.3 夜間切替設定

MobiSart では、公衆網からの着信を、「通常」、「夜間1」、「夜間2」の3つのモードに対応した着信先に転送するグループ（夜間切替グループ）を作成することができます。

「内線プラス」からは、このグループごとのモードを設定することができます。


また、「内線プラス」が夜間切替グループに属する場合、当該グループのモードが「夜間1」、または「夜間2」の場合に、夜間切替状態が表示されます。



図 2-8 夜間切替の設定画面



図 2-9 ホーム画面

- ① グループ
モードを設定するグループの番号を入力します。
- ② モード
設定するモードを選択します。
- ③ 保存
入力した値で MobiSart への設定を行います。
- ④ 設定
タップすると、「設定」を表示します。
- ⑤ 夜間切替設定中アイコン
「内線プラス」が夜間切替グループに属する場合、当該グループのモードが「夜間1」、または「夜間2」の場合に、夜間切替設定中アイコンが表示されます。
通知バーをスライドし、「内線プラス 夜間 1(または夜間 2)」をタップすると、「ホーム画面」を表示します。

2.4 着信音

iPhone で設定している着信音とは別に、「内線プラス」にかかってきた電話(MobiSart 経由での着信)に対する着信音を選択することができます。

なお、iPhone のサウンド切替スイッチがオフである、または着信音量がゼロとなっている場合は、「内線プラス」にかかってきた電話に対しても着信音を鳴らしません。

また、着信時のバイブレーションの有無については、iPhone 本体の設定に準じます。

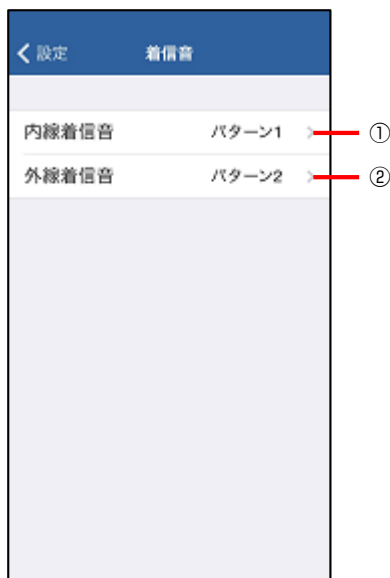


図 2-10 着信音の設定画面



図 2-11 内線着信音の設定画面

- ① 内線着信音
MobiSart にログインしている別内線から電話を受けたときの着信音を設定します。
- ② 外線着信音
MobiSart 経由で外線から電話を受けたときの着信音を設定します。

2.5 アカウント

「内線プラス」がログインしたアカウント情報を参照することができます。



図 2-12 アカウントの設定画面

- ① アカウントの削除
ログインしているアカウントを削除します。
削除後は図 1-1 ログイン設定画面を表示します。

2.6 ヘルプ

バージョン情報の参照やログの設定などができます。



図 2-13 ヘルプ画面

- ① バージョン情報
「内線プラス」のバージョン情報画面を表示します。
- ② ログ設定
チェックを付けると、再起動後から「内線プラス」のログを出力します。
- ③ ログの送付
タップすると、取得したログを添付した状態で、「メール」が起動します。

第3章 操作

本章では、「内線プラス」の操作手順について説明します。

3.1 「内線プラス」の基本操作

3.1.1 「内線プラス」の起動

「内線プラス」の起動手順について説明します。

- ・ iPhone の画面から「内線プラス」アイコンをタップすると起動できます。



図 3-1 ホーム画面

- ① 内線番号
第 1 章にてログインした内線番号が表示されます。
- ② キーパッド
タップすると、ホーム画面が表示されます。
- ③ 履歴
タップすると、履歴画面が表示されます。
- ④ 連絡先
タップすると、連絡先画面が表示されます。
- ⑤ ピックアップ
タップすると、着信している別内線への電話を受けることができます。

⑥ 機能

タップすると、「固定短縮ダイヤル」 / 「パーク応答」を選択することができます。

<固定短縮ダイヤル>：固定短縮ダイヤルによる発信

MobiSart に固定短縮ダイヤルが登録されている場合、登録された固定短縮番号(※1)に電話をかけることで、登録先の相手に電話をかけることができます。

<パーク応答>：パークされた電話に応答する

[3.1.6 電話をパークする](#)によって、パーク実行を行った電話に応答することができます。パーク応答を行うには、パーク実行時に使用したパーク番号の入力が必要です。

- ・固定短縮ダイヤルによる発信 / パークされた電話に応答を行う場合
⑥をタップし、「固定短縮ダイヤル」 / 「パーク応答」を選択します。
ダイヤルパッドに「固定短縮」 / 「パーク応答」ボタンが表示されます(※2)。
そのまま固定短縮番号 / パーク番号をダイヤルし、発信します。

※1:固定短縮番号については、管理者にお問い合わせください。

※2:「固定短縮ダイヤル」または「パーク応答」選択後に表示されるダイヤルパッドには、それぞれのサービスを実行するためのボタンが表示されています(図 3-2 ⑦)。サービスの実行をキャンセルする場合、このボタンをタップすると、削除を選択することができます(図 3-3)。



図 3-2 ホーム画面



図 3-3 機能削除画面

3.1.2 電話をかける

「内線プラス」から電話をかける手順について説明します。
電話をかける手順は、ダイヤル発信、連絡先発信および履歴発信があります。

3.1.2.1 ダイヤル発信

- ・「内線プラス」のホーム画面(図 3-1)から発信する相手の電話番号を入力します。
- ・「発信」ボタンをタップします。

3.1.2.2 連絡先発信

- ・「内線プラス」のホーム画面(図 3-1)から「連絡先」をタップし、「連絡先」を表示します。
- ・発信する相手の連絡先を選択します。
- ・発信する電話番号をタップします。

3.1.2.3 履歴発信

- ・「内線プラス」のホーム画面(図 3-1)から「履歴」をタップし、「履歴」を表示します。
- ・発信する相手を選択し、発信ボタンをタップします。

3.1.3 電話を受ける

かかってきた電話を受ける手順について説明します。

「内線プラス」起動中、「内線プラス」に電話がかかってくると、着信画面を表示します。



図 3-4 着信画面

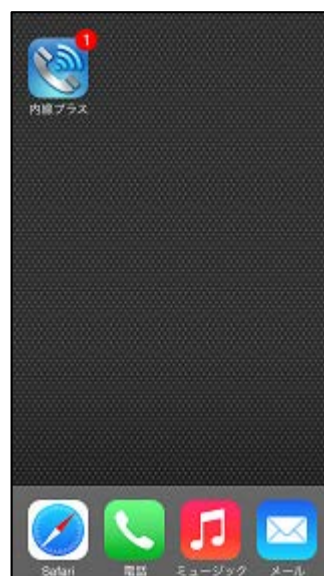


図 3-5 アイコンバッチ

① 応答

着信に応答し、通話状態になります。

② 拒否

かかってきた電話を拒否することができます。電話をかけた相手には話中音が聞こえます。

- ・「内線プラス」がバックグラウンドにある場合、また iPhone 本体がスリープしている場合、「バックグラウンド動作」(2章 ⑥)がオンのときに限り、電話を受けることができます。この時の着信は、通知として表示します。通知の表示形式については、iPhone 本体の設定に準じます。
- ・かかってきた電話に出なかった場合、「内線プラス」のアイコンにバッチ(図 3-5)が表示されま
す。バッチ表示の有無については、iPhone 本体の設定に準じます。

3.1.4 通話中画面の見かた

通話中の画面について説明します。

なお、保留中、被保留中、発信中、着信中、通話終了時にも、同様の情報が表示されます。



図 3-6 通話中画面

- ① 内線番号
第2章にてログインした内線番号が表示されます。
- ② 機能
タップすると、電話をパークすることができます([3.1.6 電話をパークする](#))。
- ③ 電話の状態
「通話中」、「保留中」、「被保留中」、「発信中」、「着信中」、「終了」、「未設定」、「接続不可」、「話中」が表示されます。
- ④ 画像
通話相手を電話帳に画像登録している場合、その登録画像が表示されます。
- ⑤ 名前
通話相手を電話帳に名前登録している場合、その登録名が表示されます。
- ⑥ 相手番号
相手の番号が表示されます。
- ⑦ 通話時間
通話が始まってからの時間を表示します。

- ⑧ 転送
タップすると、電話を転送することができます([3.1.5 電話を転送する](#))。
- ⑨ 保留
タップすると、通話相手を保留することができます。「再開」をタップすると通話に戻ります。
なお、保留状態が一定時間以上続いた場合、呼び返しが発生します。この場合、「再開」をタップすることで、元の通話に戻ります。
- ⑩ ミュート
タップすると、自分の声を相手に聞こえなくします。もう一度タップすると元に戻ります。
- ⑪ キーパッド
タップすると、キーパッド画面が表示され、プッシュ信号を送信できます。
- ⑫ 終了
タップすると、通話を終了することができます。

3.1.5 電話を転送する

通話中の電話を転送する手順について説明します。

3.1.5.1 転送発信

- ・「内線プラス」の通話中画面(図 3-6)から「転送」をタップし、図 3-7 キーパッド画面を表示します。

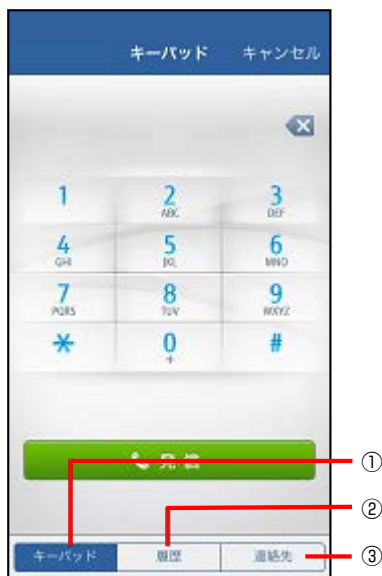


図 3-7 キーパッド画面(転送)

- ・ [3.1.2 電話をかける](#)と同様の操作で、転送先へと発信します。
 - ① キーパッド
ダイヤルすることで転送先へと発信します。
 - ② 履歴
履歴を選択することで転送先へと発信します。
履歴画面での操作については、[3.1.2.3 履歴発信](#)と同じです。
 - ③ 連絡先
連絡先を選択することで転送先へと発信します。
連絡先での操作については、[3.1.2.2 連絡先発信](#)と同じです。
- ・ 「終了」をタップすると、転送発信をキャンセルし、元の通話（ただし保留中）に戻ります。

3.1.5.2 マルチ接続

転送発信を行った相手が応答すると、マルチ接続中状態となります。



図 3-8 マルチ接続中画面

マルチ接続状態のときに通話／保留相手をタップすると、保留相手との通話になり、通話していた相手を保留します（チェンジオーバ）。チェンジオーバは、2者接続状態であれば交互に操作可能です。

- ・マルチ接続中に、「転送完了」をタップすることで、転送が完了します。
- ・マルチ接続中に、「終了」をタップすることで、通話相手との通話を終了し、保留相手との通話（ただし保留中）になります。

3.1.6 電話をパークする

3.1.6.1 コールパーク実行

通話中の電話をパークする手順について説明します。

- ・「内線プラス」の通話中画面(図 3-6)から「機能」ボタンをタップします。
- ・「コールパーク」をタップすると、ダイヤルパッドが表示されます。
- ・パーク番号(※1)をダイヤルし、発信します。
- ・パークに成功すると、通話が終了します。
- ・ダイヤルパッドから「キャンセル」をタップする、またはパークに失敗すると、元の通話（ただし保留中）に戻ります。

3.1.6.2 コールパーク応答

パークされた電話に応答する手順について説明します。

- ・「内線プラス」のホーム画面(図 3-1)から「機能」ボタンをタップします。
- ・「パーク応答」をタップすると、キーパッドに「パーク応答」が表示されます。
- ・コールパーク実行でダイヤルしたパーク番号をダイヤルし、発信します。
- ・パーク応答に成功すると、パークされた電話との通話になります。
- ・パーク応答に失敗すると、ホーム画面に戻ります。

なお、電話をパークした後、その電話が一定時間以上パークされたままの場合、呼び返しが発生します。この場合、「応答」をタップすることで、元の通話に戻ります。

※1 パーク番号は 00～99 の数字です。

3.1.7 グループ保留

「内線プラス」にグループ保留が設定されている場合、「内線プラス」の通話中にグループ保留を行うことができます。また、実行されたグループ保留に対しても、「内線プラス」から応答することができます。

グループ保留が設定された「内線プラス」では、ホーム画面および通話中画面の左側にスワイプタブが表示されます。スワイプタブを右にスワイプ、またはタップすることで、グループ保留画面(ホーム画面：図 3-8、通話中：図 3-9)が表示されます。



図 3-9 グループ保留画面(ホーム)



図 3-10 グループ保留画面(通話中)

3.1.7.1 グループ保留実行

- ・「内線プラス」の通話中画面(図 3-6)からスワイプタブをスワイプ／タップし、グループ保留画面を表示します。
- ・選択可能なグループ保留ボタン(※1)をタップします。
- ・グループ保留実行に成功すると、通話が終了します。
- ・グループ保留実行に失敗すると、元の通話(ただし保留中)に戻ります。

※1: 既に実行されたグループ保留ボタンには、「使用中」と表示され、選択することができません。

3.1.7.2 グループ保留応答

- ・「内線プラス」のホーム画面(図 3-1)からスワイプタブをスワイプ／タップし、グループ保留画面を表示します。
- ・選択可能なグループ保留ボタン(※1)をタップします。
- ・グループ保留応答に成功すると、通話を開始します。
- ・グループ保留応答に失敗すると、グループ保留操作を終了し、ホーム画面に戻ります。

※1: グループ保留が実行されたグループ保留ボタンは、緑色で表示されます。
使用されていないグループ保留ボタンは、選択することができません。

3.1.7.3 グループ保留呼び返し

電話をグループ保留した後、その電話が一定時間以上保留されたままの場合、呼び返しが発生します。この場合、該当する「グループ保留」をタップすることで、元の通話に戻ります。

なお、グループ保留の呼び返しは、同じグループ保留グループ(※1)に設定されているすべての「内線プラス」で発生しますが、グループ保留を実行した操作者と、それ以外の「内線プラス」とで振る舞いが異なります。

<グループ保留操作者>

デバイスがバイブすると同時に、グループ保留画面を表示し、呼び返しに該当するグループ保留ボタンが点滅します。

なお、グループ保留画面を閉じると、ホーム画面上のスワイプタブが点滅します。

<グループ保留操作者以外>

「内線プラス」を起動すると、ホーム画面上のスワイプタブ、およびグループ保留画面を表示した際の、呼び返しに該当するグループ保留ボタンが点滅します。

※1: 「内線プラス」に設定されたグループについては、管理者にお問い合わせください。

3.1.8 通話中に電話を受ける

「内線プラス」では、内線通話中に携帯電話への電話がかかってきた場合、iPhone 本体の着信画面が表示されると同時に、内線通話相手に対し、MobiSart で設定されている動作(※1)を行います。
なお、内線通話中での携帯電話への着信による着信音・バイブは、iPhone 本体の設定に準じます。

※1: 「内線プラス」に設定される、携带着信時の動作については、管理者にお問い合わせください。

付録A 使用時の留意事項

ここでは、「内線プラス」をインストールした iPhone を使用する際の留意事項について記述しています。

- (1) 通話品質について
「内線プラス」での通話時は、携帯電話での通話音声と聴感が異なります。
- (2) iPhone 本体の温度上昇について
「内線プラス」での通話中、iPhone 本体が熱くなることがあります。
- (3) iPhone 本体の電池消耗について
「内線プラス」の「設定」から、「バックグラウンド動作」および「スリープ時の Wi-Fi 復帰」をオンにしている場合、iPhone 本体の電池の減りが早くなることがあります。
- (4) 他のアプリケーションとの共用について
「内線プラス」ご利用時に、他の電話系アプリケーションが起動していると、「内線プラス」が正常に動作しない場合があります。「内線プラス」ご利用の際は、他の電話系アプリケーションを終了してください。
- (5) Wi-Fi 接続について
「内線プラス」ご利用時の Wi-Fi 接続において、IP アドレスを静的に設定する場合、DNS 欄に必ず MobiSart の IP アドレスを入力してください。

付録B ライセンス

License : New BSD License.

Copyright (c) 2005-2013, Zend Technologies USA, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of Flying Dolphin Studio nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

License : zlib-license.

/* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.2.8, April 28th, 2013

Copyright (C) 1995-2013 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly
jloup@gzip.org
*/

Mark Adler
madler@alumni.caltech.edu

License : Mit License.

Copyright (c) 2012 Jesse Andersen. All rights reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

内線プラス クライアントソフト B (ユーザ編) iPhone 版 V2
使用手引書

2015 年 9 月 第 2 版
©富士通株式会社
